

～ 自転車を利用する30代から50代の男女300人にアンケートを実施～

## 自転車保険加入のきっかけは「事故の危険」と「家族への配慮」

### プランの検討では補償内容の充実度と支払額を重視

自転車ブームで自転車保険業界は活況！数あるサービスの中でバランスよく設計されたプランとは？

株式会社エアリンクは、株式会社ネオマーケティングが運営するアンケート専門サイト「アイリサーチ」のWebアンケートを利用し、「自転車保険の加入に関するアンケート」を実施しました。調査期間は2012年6月26日(火)～27日(水)の2日間、調査対象は自転車を利用している日本全国の30歳から59歳までの男女300名です。アンケートの概要をお知らせいたしますので、貴メディアにてご採用いただければ幸いです。

#### 都市部で多い自転車事故！！高まる自転車保険ニュース！！

便利で健康的な交通手段といえは自転車が真っ先に思い浮かびます。しかし、自転車に関与する事故はあいかわらず多く、さらなる安全対策が望まれます。警視庁のデータでは平成23年中の自転車事故発生件数は全国で147,629件、東京都で20,480件。道路交通法や条例の改正で規制が強化され、この数年わずかながら減少していますが、まだまだ高い数値といえるでしょう。特に東京などの都市部では、交通事故全体に占める自転車関与事故の割合が高く、全国の関与率が20%前後であるのに対し、都内では37.3%となっています。

参考資料(警視庁) <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/toukei/bicycle/bicycle.htm>

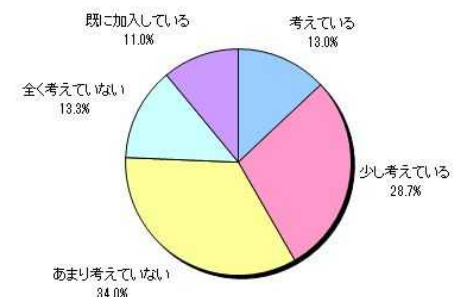
こうした状況において、自転車保険への関心が高まりつつあります。この度、株式会社エアリンクが実施したアンケートでは、自転車保険への加入をテーマに、自転車利用者の意識を探りました。

#### 2人に1人が自転車保険を前向きに考える！！

Q1「あなたは自転車保険への加入を考えていますか」という問いに対し、「考えている」(13.0%)、「少し考えている」(28.7%)、そして「既に参加している」(11.0%)を合わせた52.7%が前向きな姿勢でした。

一方、「あまり考えていない」(34.0%)と「全く考えていない」(13.3%)を合わせた47.3%が否定的ですが、**ほぼ2人に1人は自転車保険への加入を前向きにとらえている**ことが分かりました。

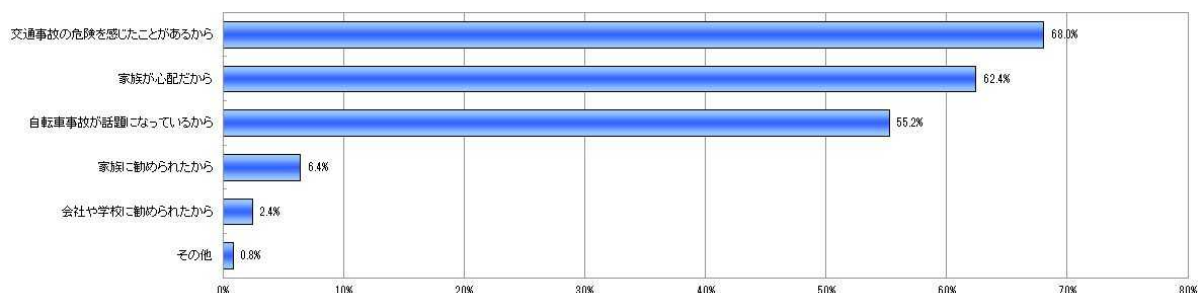
Q1.あなたは自転車保険への加入を考えていますか。(お答えは1つ)(N=300)



## 自転車保険加入を考えたきっかけ、そして検討のポイントは？

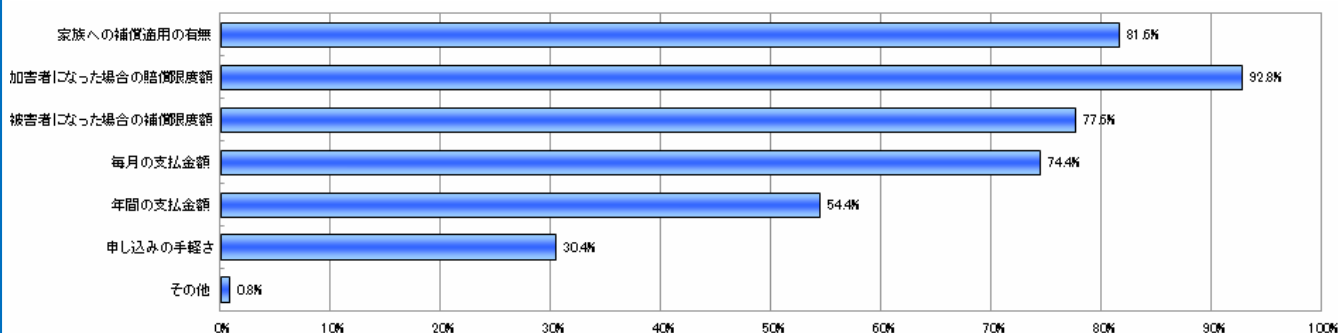
Q2は、Q1で自転車保険への加入を「考えている」または「少し考えている」と答えた方に、加入を考え始めたきっかけを複数回答で聞きました。その結果、「交通事故の危険を感じたことがあるから」(68.0%)をトップに、「家族が心配だから」(62.4%)、「自転車事故が話題になっているから」(55.2%)と続きました。やはり**事故のリスクが、自転車保険加入を検討する最大のきっかけ**になっているようです。

Q2.自転車保険への加入を「考えている」または「少し考えている」とお答えの方にお聞きます。自転車保険への加入を考え始めたきっかけは何ですか。(お答えはいくつでも)(N=125)



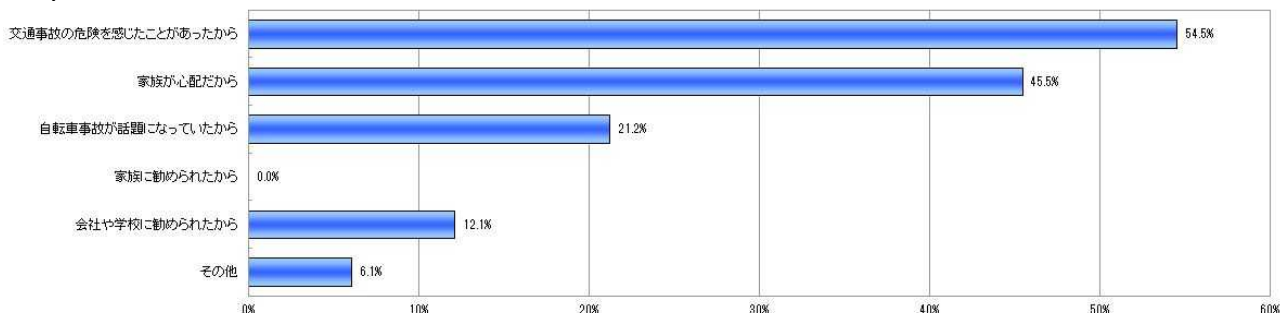
Q3も、Q1で自転車保険への加入を「考えている」または「少し考えている」と答えた方に聞きました。自転車保険への加入を考える際、どの点に注意するか聞いています。結果は「**加害者になった場合の賠償限度額**」(92.8%)、「**家族への補償適用の有無**」(81.6%)、「**被害者になった場合の賠償限度額**」(77.6%)、「**毎月の支払金額**」(74.4%)が高い数値となりました。自転車保険への加入を考える際には、これらの項目が重視されていることが分かります。特に**多くの方が加害者になった場合の賠償に不安を抱いている**ようです

Q3.自転車保険への加入を考える際、どの点に注意し加入をご検討されますか。(お答えはいくつでも)(N=125)



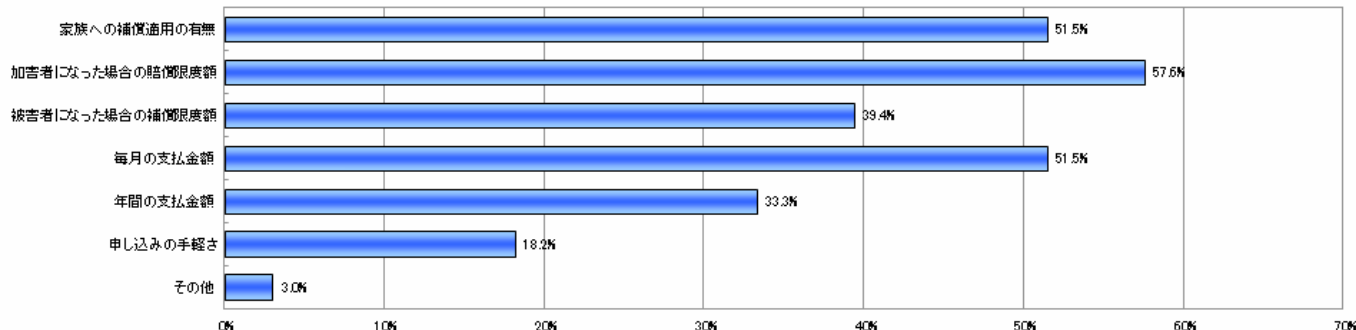
Q4は、Q1で「既に自転車保険に加入している」と答えた人に、自転車保険への加入を考え始めたきっかけを聞いてみました。その結果、「交通事故の危険を感じたことがあったから」(54.5%)と「家族が心配だから」(45.5%)が突出しました。実際に加入した人は、話題性や推奨よりも、このふたつの理由がきっかけになったことがわかります。

Q4.既に自転車保険に加入しているとお答えの方にお聞きます。自転車保険への加入を考え始めたきっかけは何でしたか。(お答えはいくつでも)(N=33)



Q5も、Q1で「既に自転車保険に加入している」と答えた人に、自転車保険への加入を考える際、どの点を注意して検討したか聞きました。結果はやはり「加害者になった場合の賠償限度額」(57.6%)、「家族への補償適用の有無」(51.5%)、「毎月の支払金額」(51.5%)が重視されています。**実際に加入した人では「支払金額」も上位に肉薄しました。**

Q5.既に自転車保険に加入しているとお答えの方にお聞きます。自転車保険への加入を考える際、どの点を注意し加入をご検討されましたか。(お答えはいくつでも) (N=33)



エアリンクの自転車保険はバランス重視の3大ポイント！  
賠償限度額1億円！ 家族全員補償！ 年払い保険料3,600円(ひと月にすれば300円)！

今回の調査で、**自転車保険への加入を前向きに検討している方は、「賠償限度額」、「家族への補償適用」、「毎月の支払金額」を重視している**ことが分かりました。

自転車保険サービスを運営している各社のプランを比較検討すると、月額費用は100円程度であるが賠償制限額が数千万円までというものがあり、賠償額を1億円に引き上げると月額が跳ね上がる、などの例が見られます。あちらを立てれば、こちらが立たず、といった感が否めません。

しかし、**株式会社エアリンクの自転車の責任保険(交通事故傷害保険)**のように、バランスよく設計されたプランもあります。過去、自転車での加害事故で**賠償金6,000万円という判例**もあることを

考え、加害者になった場合の**賠償限度額は1億円**、被害者になっても**日額3000円補償**される入院補償を付与、しかも**保険料は1年間3,600円の年払いで、ひと月にすれば300円とリーズナブル。**

さらに**賠償責任は家族全員(本人、配偶者、同居する親や子など)が対象**になります。

申し込みは、インターネット、スマートフォンで簡単です。

最短で3日後から補償開始、クレジットカード払いの自動継続なので払い忘れもありません。

利用者の細かなニーズにも応える理想的なプランといえるでしょう。

自転車の責任保険	
年払い保険料	3,600円 (ひと月にすれば300円)
補償開始	お申込みの3日後 午前0時から
<b>ご本人・ご家族</b> 賠償事故を起こしてしまったとき	
賠償責任補償	限度1億円
<b>ご本人</b> 交通事故でのケガによって入院したとき、万一のことがあったとき	
死亡保険金	288万円
後遺障害保険金	最高288万円
入院保険金	日額3,000円
手術保険金	手術の種類に応じて 3万円・6万円・12万円